

中央区地域別災害対応マップ

Disaster and Emergency Map for Chuo-ku Area

中央区地区性防災地図

중요구 지역별 재해대응지도

愛日地域 Aijitsu Area・愛日地区・아이지츠 지역

船場地域 Semba Area・船場地区・센바 지역

久宝地域 Kyuho Area・久宝地区・큐호 지역

集英地域 Shuei Area・集英地区・슈에 지역

汎愛地域 Han-ai Area・泛愛地区・한아이 지역

浪華地域 Naniwa Area・浪華地区・나니와 지역



中央区マスコット
キャラクター

ゆめまるくん

問合せ 大阪市中央区役所市民協働課(市民協働)5階51番
TEL 06-6267-9843 FAX 06-6264-8283

このマップは、地域住民・地域の事業者などのご協力の下、
中央区役所が作成しました

非常時連絡先については

火災・救急 ☎ 119 (消防署) **ガスもれ** ☎ 0120-0-19424 (大阪ガス)

非常 ☎ 110 (警察) **電気** ☎ 0800-777-8012 (関西電力株元町営業所)

NTT災害用伝言ダイヤル ☎ 171 (使い方は右下のNTT災害用伝言ダイヤルを参照)

救急安心センターおおさか ☎ #7119または ☎ 6582-7119

中央区役所(大阪市中央区災害対策本部) ☎ 6267-9734

中央消防署 ☎ 6947-0119 **東警察署** ☎ 6268-1234

防災情報については



大阪市検索



大阪市危機管理室検索



おおさか防災ネット検索

防災メモについて (緊急連絡カードの記入)

じゅうしょ	でんわ			おとこ
なまえ				おんな
たんじょうび	ねん	がつ	ひ	RH 十
ほごしゃ	なまえ	れんらくさき		
かいしゃ	でんわ			
がっこう	でんわ			
かぞくが あつまるばしょ				

●家族と落ち合う場所など、決めたことは緊急連絡カードに記入して、いつも携帯しましょう。
●居住地(所在地)による避難所の指定はありませんので、お近くの避難所を日頃から確認しておきましょう。

防災チェックリスト

家庭編

- ☐ 家族一人ひとりの役割を確認
- ☐ 幼児や高齢者などの避難の付き添いを確認
- ☐ 非常持ち出し品の準備(下のリストを参照)
- ☐ 家具の固定や家の耐震対策
- ☐ 消火器などの防災用具の用意
- ☐ 自宅の危険箇所の確認
- ☐ 避難路、避難場所の確認(実際に歩いて確認)
- ☐ 防災メモを用意(左下のメモを参照)
- ☐ 家族の安否確認の方法を考える(右下のNTT災害用伝言ダイヤルなどの利用)



事業所編

大規模な災害が発生し交通機関がストップすると、駅前などでは大混乱が予想されます

- ☐ 従業員を一齐に帰宅させることを控える
- ☐ 従業員が滞在するための準備
- ☐ 正確な情報を入手できるよう、携帯ラジオなどを準備
- ☐ 日頃から社内や店舗の安全対策につとめる



非常持ち出し品チェックリスト(大人2人分の目安)

リュックサックなど両手が動かせるものに次のようなものを準備

- ☐ 缶入り乾パン(110g) 2個
- ☐ 飲料水(500mlペットボトル) 6本
- ☐ 懐中電灯 2個
- ☐ ローソク 2本
- ☐ ライター 2個
- ☐ 携帯ラジオ 1台
- ☐ 十徳ナイフ 1本
- ☐ 軍手・手袋 2組
- ☐ ロープ 5m〜 1本
- ☐ 救急セット 1式



- ☐ レジャーシート 1枚
- ☐ サバイバルブランケット 2枚
- ☐ 簡易トイレ 2枚〜
- ☐ タオル 4枚〜
- ☐ ポリ袋 10枚
- ☐ トイレットペーパー 1ロール
- ☐ ウェットティッシュ 2個
- ☐ 現金(公衆電話用の小銭) 約50枚
- ☐ ガムテープ(布製) 1個
- ☐ 油性マジック(太) 1本
- ☐ 筆記用具 1セット
- ☐ 生理用品



地震発生時の行動のポイント

家庭編

身を守る

- ・揺れが収まるまで待つ
- ・落ち着いて、自分の身を守る
- ・机の下などへ避難
- ・火に近づかない



安全確認

- ・火元の確認
- ・テレビ、ラジオをつける
- ・家族の無事を確認
- ・余震に注意

地域の確認

- ・近所の安全を確認
- ・情報の収集
- ・デマやうわさに惑わされない
- ・自主防災組織の活動を開始

助け合い

- ・隣近所の方と協力し合って、救出、救護、情報の収集
- ・無理をしない
- ・食料や水を持ち寄り、みんなで分け合う

避難所

広域避難場所 ①大阪城公園 ②靫公園 ③中之島

同時多発火災が発生し、人命に著しい被害を及ぼすと予測される場合の避難に適する大きな公園など

災害時避難所 ①開平小学校 ②中央区民センター(収容避難所) ③本願寺津村別院(北御堂)

宿泊・給食等の生活機能を提供できる施設。小学校、中学校など

一時避難所 ①東横堀公園 ②久宝公園

一時的に避難できる広場、公園や学校の運動場など

自動車は使わない

職場や会社、外出先編

身を守る

- ・机の下などへ避難。カバンなどで頭を保護
- ・窓際や本棚・商品棚などから離れる
- ・大きな柱や壁際へ身を寄せる
- ・窓ガラスや看板の落下を避け、安全な場所へ移動

状況確認

- ・鉄道の運行情報など、正確な情報を確認(情報は、おおさか防災ネットや携帯ラジオなどで収集)
- ・NTT災害用伝言ダイヤル171や全ケータイ会社共通対応の災害用伝言板を利用し安否を伝達・確認(右を参照)

帰宅

- ・一齐に帰宅すると駅前などでは混雑により集団転倒などの危険がある
- ・あわてず時差帰宅につとめる
- ・会社や学校にいる方は、できるだけその場に留まる

帰宅の目安<地下鉄本町駅からの距離>



※徒歩で帰宅できる距離は10km程度といわれています

徒歩による帰宅に備えて

- ・事前に帰宅ルート及びルート上の災害時帰宅支援ステーションの確認
- ・会社スニーカーを用意
- ・会社にお菓子や水などの非常食を用意
- ・会社へ地図・手袋・懐中電灯などの帰宅グッズを用意



けがをしたときの応急手当

落ち着いて傷病者の状態を観察して、症状に適した応急手当をすることが大切です

●出血

【傷口を直接圧迫】

傷口にきれいなガーゼやハンカチを当て、強く押さえ、直接圧迫する。

●やけど

- ・すぐにきれいな水で冷やす。
- ・衣服の上からやけどしたときは、衣服ごと冷やす。
- ・水ぶくれは、雑菌が入るためつぶさないように。



●骨折

- ・身近なもので固定する。例えば、バット、傘、ものさし、つえなどを利用する。
- ・固定する位置(角度)は、傷病者の最も痛みの少ない位置とする。

●ひきつけ

- ①衣類をゆるめる。
- ②横向きに寝かせ、口の中にとまった液などを外に出やすくする。
- ③熱が高いときは頭や首、脇の下を冷やす。

●のどに物がつかえたとき

【背部叩打法】

手のひらで背中を強く数回たたく。

【ハイムリック法】

両手で上腹部(みぞおち)を力強く手前上方に引き上げる。

※反応がない傷病者や妊婦、1歳未満の乳児には行わない。



応急手当の練習は誤った方法で行うと危険がともいますので、応急手当講習会などで、指導者から十分に訓練を受けておきましょう。大阪市では、大切な命を助けるためにAEDの使用方法を含めた新しい応急手当の講習会を開催しています。詳しくは最寄りの消防署までお問い合わせください。

くわしくは 大阪市消防局ホームページ

アドレス<http://www.city.osaka.lg.jp/shobo/>

NTT 災害用伝言ダイヤル 171

使い方 災害発生時(震度6以上の地震など)に開設されるNTTの災害伝言ダイヤルサービス



ご利用にあたっての事前契約などは一切不要です。
音声ガイダンスに従って、録音・再生します。

市外局番+
自宅の電話番号

市外局番+
被災者の方の電話番号

- 利用可能な端末/NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話
- 伝言数/1電話番号あたり1〜10伝言
- 録音時間/1伝言30秒以内
- 伝言保存期間/2日間(48時間※自動消去)
- ※次の期間には体験利用ができます
毎月1・15・正月三が日
防災週間(8月30日〜9月5日)
防災とボランティア週間(1月15日〜1月21日)

全ケータイ会社共通対応「災害用伝言板」

「災害用伝言板」は、震度6弱以上の地震など、大きな災害が発生した場合に、全ケータイ会社のケータイ・スマートフォンのネット上に緊急開設されます。
各ケータイ会社のWebサイトトップ画面からアクセスしてください。

※スマートフォンにおいては、専用のアプリケーションのダウンロードが必要な場合があります。